

しょう せいりゅう とう

小青竜湯 A エキス細粒「分包」 三和生薬

小青竜湯 A エキス細粒「分包」三和生薬は、漢方処方「小青竜湯」の水製エキスを服用しやすい細粒の分包にしたものです。



使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
- (4) 胃腸の弱い人。
- (5) 発汗傾向の著しい人。
- (6) 高齢者。
- (7) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (8) 次の症状のある人。
むくみ、排尿困難
- (9) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
間 質 性 肺 炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1 ヶ月位（感冒に服用する場合には 5～6 日間）服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

用法・用量

次の 1 回量を 1 日 3 回食前又は食間に服用すること。

年 令	1 回 量
大人（15 才以上）	1 包
7 才～14 才	2/3 包
4 才～ 6 才	1/2 包
4 才 未 満	服用しないこと

〈用法・用量に関連する注意〉

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成 分

本品 1 日量 …………… 3 包（1 包 2.0 g）中
小青竜湯エキス（7/10 量）…………… 4.0 g

マ オ ウ …………… 2.1 g	ケ イ ヒ …………… 2.1 g
シャクヤク …………… 2.1 g	サイシン …………… 2.1 g
カンキョウ …………… 2.1 g	ゴ ミ シ …………… 2.1 g
カンゾウ …………… 2.1 g	ハ ン ゲ …………… 4.2 g

添加物として乳糖、セルロース、部分アルファー化デンプン、ステアリン酸 Ca、無水ケイ酸を含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わる。）

● お問い合わせ先

本品の内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

三和生薬株式会社 消費者くすり相談室
東京都千代田区外神田 6-6-1
T E L 03-3834-2171（代）
（月～金曜日 10：00～17：00 但し祝日を除く）

本剤は、生薬を使用しておりますので、製品により多少色が異なることもございますが、効能・効果にはかわりございません。

適応症

体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出るものの次の諸症：

気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症



三 和 生 薬 株 式 会 社
栃木県宇都宮市平出工業団地 6-1